

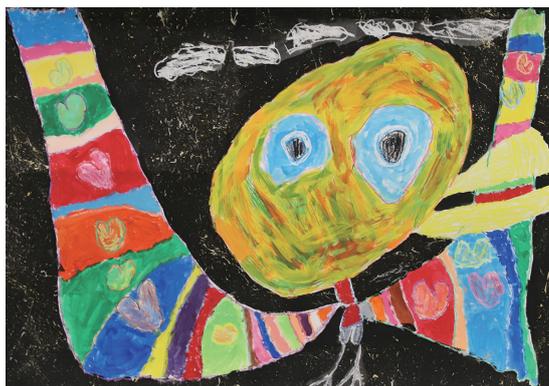
全附P連PTA研修会

第15回全国大会 2024



開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために
～語り合おう、いまわたしたちのできることを～



全附P連絵画コンクール
2023年度会長賞

主催 一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）

協力 全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会

後援 文部科学省
日本教育大学協会

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA 連合会（全附P連）

「PTA 研修会 第15回全国大会」

開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために
～語り合おう、いまわたしたちのできることを～

- 1 開催目的** (1) 日本の公教育を国立大学および附属学校と共に支える全国規模のPTA組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。
(2) 日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。
(3) 全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し、解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。
- 2 開催日時** 令和6年9月27日（金）～9月28日（土）
- 3 開催場所** リーガロイヤルホテル東京 2階・3階
- 4 参加対象者** 国立大学附属学校の保護者および教職員

ZENFAUREN

CONTENTS

2 ご挨拶

3 祝 辞

≪1日目≫

4 開会行事

5 基調講演 1

永井 玲衣氏 講演

「問いあう、ききあう、考えあう」

6 分科会 1

「教育にとって一番大切なこと」

7 分科会 2

「生成 AI 時代におけるデジタルと教育の向き合い方」

8 分科会 3

「部活動の地域移行について」

9 分科会 4

「凸凹のあるチョコレートが美味しい秘密
～ぼくらが子どもの働く未来を変える～」

≪2日目≫

10 附属セミナー

11 基調講演 2

木村 貴志氏 講演

「学び方が変わると人生が変わる」

11 閉会行事

12 大会記念品／販売ブースのご案内

15 学校園・参加者数

19 お礼の言葉／終わりの言葉

20 大会実行委員名簿



全附 P 連絵画コンクール 2023
【会長賞】

1
「ウォーター・サルート」
千葉大学教育学部附属小学校 2 年

2
「図書館」
名古屋大学教育学部附属高等学校
1 年

3
「みんなのワクワクを乗せて出発
だ!!」
鹿児島大学教育学部附属
小学校 5 年

4
「さいた、さいた、花火がさいた!!」
筑波大学附属大塚特別支援学校
中学部 2 年

5
「最強スーパーボディ!
大きな口でいかくするカバ」
鳴門教育大学附属小学校 3 年

6
「うちゅうのとり」
千葉大学教育学部附属幼稚園年長

順不同。学年は受賞時。

ご挨拶



桑名 良尚

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会 会長

全附P連PTA研修会第15回全国大会の開催にあたり、主催者を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

教育基本法の前文に「たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する」とありますが、これはもとより、同法第1条で、教育の目的として「人格の完成」「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」とあり、また、第2条においては教育の目標として、①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと、②個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと、③正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと、④生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと、⑤伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこととあります。国立大学附属学校はこれら教育基本法の理念・目的・目標・機会均等の実現を目指し、実践することが役割で、PTAもそれらを実現すべく協力する団体だと信じています。

さて、各单位PTAのみなさまにおかれましては、日頃より全附P連の活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。また、本日は全国各地より多くの方々にお集まりいただきまして、誠に有難うございます。重ねてお礼申し上げます。多くのみなさまにお集まりいただいたことは、志を同じく活動する全国の仲間と集い、同じ学びや気づきの場を共有できることと大変嬉しく思うのと同時に、ひと時たりとも無駄にすることなく、少しでも多くの気づきや情報、成果をお持ち帰りいただかなくてはと、本大会の運営スタッフ一同、さらに身の引き締まる思いです。

子どもたちの環境に大きく影響を与えてきたコロナ禍は収束することなく、現在も我々の生活の中に入り込み、時折猛威を振るいますが、感染に気を付けながらも、コロナ禍以前に近い形で、子どもたちも我々保護者も対面で話すことができるようになりました。今大会は「子どもたちとこの国の未来のために～語り合おう、いまわたしたちのできることを～」を開催スローガンとし、我々が皆、共に語り合い、新たな時代を築いていけるよう、PTAとして、保護者として、附属学校として今、何をすべきなのかを考えていきたいと存じます。

最後になりましたが、本大会のみならず日頃よりご指導、ご鞭撻をいただいております関係各位に心より感謝申し上げますご挨拶とさせていただきます。



祝辞

木山 慶子様

令和6年度全国国立大学附属学校連盟理事長

この度は、全国国立大学附属学校PTA連合会PTA研修会第15回全国大会が開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。

令和6年度4月現在、全国56大学に幼稚園48園、認定こども園1園、小学校67校、中学校68校、高等学校15校、義務教育学校5校、中等教育学校4校、特別支援学校45校、計253校園の附属学校が設置されており、約8.4万人の子どもたちが通っています。

これら国立大学附属学校園の使命や役割には、実験的で先導的な学校教育への取り組み、教育実習の実施、大学や学部における教育に関する研究への協力があります。

そして、この附属学校園の使命や役割を果たすための日々の教育活動に、大きくお力添えをいただいているのが、全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）であり、その協力なくしては、教育活動の推進は困難といえます。

全附P連は、子どもたちの学習環境の充実と安心安全の確保を目的の一つとし、全国国立大学附属学校連盟（学校連盟）とともに、附属学校園の持つ独自性や創造性、社会的使命、存在意義、現状などをそれぞれの地域社会および全国的に発信することにより広く世の中の理解と支援が得られるよう積極的な活動を展開されて

います。

今日の社会情勢の中で、附属学校園の抱える課題としては、特に、地域のモデル校としての役割が果たされているか、附属学校園の取り組みは公立学校において活用されているか、が問われています。この課題を解決し、附属学校園の取り組みが多くの公立学校において活用されるために、附属学校園が、現在の日々の教育活動を、自校の中だけで完結させることなく、広く多く、発信することが必要であると考えています。

本年度「全附連」(学校連盟と全附P連の合同組織)では、全国の附属学校園から好事例を集めたムック本の第3弾を出版いたします。その他、附属学校園の明日からでも活用できる事例について、随時HPにおいて紹介しています。

今後もこれまで以上に、全附P連と学校連盟が力を合わせ、必要とされる、無くてはならない附属学校園を目指していきたいと思いを強くしております。

最後に、本日の研修会が皆様にとって実りある会であることを祈念するとともに、全国国立大学附属学校PTA連合会の益々のご発展を信じ祝辞とさせていただきます。

1 目 開会行事

ロイヤルホール（3階） 13：00～14：00

[司会] 顧問 二村美里

1. 開会のことば

齋藤 伸

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会 副会長

2. 国歌斉唱

3. 主催者挨拶

桑名 良尚

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会 会長

4. 来賓祝辞

5. 省庁行政説明

「国立大学附属学校に期待されること」

小倉 基靖氏

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

「『財政教育プログラム』について」

森永 真次氏

財務省 大臣官房地方課 課長補佐

「J-FLECにおける金融経済教育の取り組み」

奥村 安澄氏

金融経済教育推進機構 経営戦略部 経営企画課 調査役

基調講演 1

ロイヤルホール (3階) 14:00 ~ 15:30

[司会] 顧問 二村美里

演題

「問いあう、ききあう、考えあう」

本年度の開催スローガン「語り合おう」の実践者である永井氏は、日ごろから哲学をとおして、子どもたちを含む様々な方と対話をされています。このご講演から、子どもたちとの対話について、何か気づきを持ち帰っていただけると幸いです。

永井 玲衣氏

哲学研究者



■紹介

学校・企業・寺社・美術館・自治体などで、人びとと考えあう場である哲学対話を幅広く行っている。

Gotch 主催のムーブメント「D 2021」などでも活動。著書に『水中の哲学者たち』（晶文社）や『世界の適切な保存』（講談社）がある。連載に「世界の適切な保存」（群像）「ねそべるてつがく」（OHTABOOKSTAND）「これがそうなのか」（小説すばる）「問いでつながる」（Re:Ron）など。詩と植物園と念入りな散歩が好き。

分科会 1

ダイヤモンド (2 階) 16:00 ~ 17:30

[司会] 広報副委員長 堀 毅文

テーマ

「教えから学びへ 教育にとって一番大切なこと」

今、学校は 20 世紀型から 21 世紀型へ、大きく変わろうとしています。

世界中の国々がその模索をしています。情報だけなら簡単に手に入る時代に、子どもたちが「深くわかる」ようになるにはどうすればよいか、その模索です。その内容はご家庭での育児のテーマと重なるでしょう。

汐見 稔 幸氏

一般社団法人家族・保育デザイン研究所 代表理事



■経歴

東京大学名誉教授・白梅学園大学名誉学長・

全国保育士養成協議会会長・日本保育学会理事（前会長）

専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。初代イクメン。父親の育児参加を呼びかけている「父子手帖」の著者。時おりダジャレを交えたわかりやすい語り口の講演は定評がある。保育者による本音の交流雑誌『エデュカーレ』編集長や持続可能性をキーワードとする保育者のための学びの場『ぐうたら村』の村長でもある。NHK Eテレ『すくすく子育て』などメディアへの出演多数。

<次第>

1. 分科会進行説明（司会より）
2. 講師紹介
3. 講演
4. 質疑応答
5. 閉会

分科会 2

サファイア (2階) 16:00 ~ 17:30

[司会] 総務副委員長 村上 哲平

テーマ

「生成 AI 時代におけるデジタルと教育の向き合い方」

2023年に生成AIが本格的に台頭し、あらゆる産業が大きな変化をしようとしています。また、国内の教育においてもGIGAスクール構想により2021年には全国の公立小中に通う児童生徒に1人1台の学習用端末が配備されました。多様な生き方が尊重される現代社会と共に、学びのスタイルも多様化している現状において、私たちはどのようにデジタルと向き合い、また学びのあり方を発展させていくべきなのか、本講演は参加者皆様と共にデジタルと教育の向き合い方について考えます。

森 俊介氏

一般社団法人国際エデュテイメント協会 代表理事



■経歴

1994年4月29日生まれ。

千葉県千葉市出身。上智大学経済学部経営学科卒業。東京学芸大学附属国際中等教育学校の卒業生。中高時代にベルギー・ブリュッセルのインターナショナルスクールに通い、IB(国際バカロレア)を受講。帰国後は、カンボジアの農村部の小中学生のために、日本で使われなくなったスマートフォンを回収し、合計5つの村で英語教育事業を展開し、日本財団からの助成金獲得やTOKYO STARTUP GATEWAY等、複数のビジネスコンテストで入賞する。

現在は一般社団法人国際エデュテイメント協会 代表理事として活動し「今、これからを生きる力を。」を理念に、全国の自治体向けや学校の教員に対し、Microsoft, Google, Apple やデジタル教材などICTの活用に関わる様々な研修を実施する。その他にもSDGsを題材にした批判的思考力を養うプログラム等を学校へ提供する。累計300自治体、50を超える学校法人との取引がある。

<助言者>

川口 貴大氏

文部科学省 初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム
情報教育振興室室長補佐

<次第>

1. 分科会進行説明 (司会より)
2. 講師紹介
3. 講演
4. 質疑応答
5. 助言者から (総括)
6. 閉会

分科会 3

ガーデンテラス (3階) 16:00 ~ 17:30

〔司会〕 財務委員長 後藤友樹

テーマ

「部活動の地域移行について」

学校部活動の地域移行は、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指すものです。

その際、学校部活動の教育的意義や役割については、地域クラブ活動においても継承・発展させ、さらに、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を通じた学びなどの新しい価値が創出されるよう、学校教育関係者等と必要な連携を図りつつ、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができる環境を整える必要があります。

本分科会では国立大学附属学校2校の取り組みを紹介し、スポーツ庁から公立、私立を含めた全体的な事例も含めて整備状況を説明いただきます。

「部活動の価値を未来につなぐ、学校・大学・企業の挑戦」

埼玉大学教育学部附属中学校

関口 睦氏	埼玉大学教育学部附属中学校 校長
高橋 太一氏	埼玉大学教育学部附属中学校 副校長
岸本 航司氏	埼玉大学教育学部附属中学校 指導部長

「附属における部活動の地域移行のあり方」

大阪教育大学附属平野中学校

松田 雅彦氏	神戸親和大学 教育学部 スポーツ教育学科 教授 スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部 会長
--------	---

「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について」

大野 雅史氏	スポーツ庁 スポーツ戦略官
--------	---------------

<次第>

1. 分科会進行説明 (司会より)
2. 講師紹介
3. 講演 埼玉大学教育学部附属中学校
4. 講演 スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部
5. 講演・総括 スポーツ庁
6. 質疑応答
7. 閉会

分科会 4

エメラルド（2階） 16:00～17:30

〔司会〕 幼稚園特別支援副委員長 安岡 憲 幸

テーマ

「凸凹のあるチョコレートが美味しい秘密 ～ぼくらが子どもの働く未来を変える～」

ひとが当たり前の社会を当たり前生きる。愛知県豊橋市の商店街の一角から、障がい者の低賃脱却を目指し、現在、全国でチョコレートブランドを展開する夏目浩次氏をお迎えし、これまでの道のりやこれから目指す夢について、座談会でお伺いします。

夏目 浩次氏

一般社団法人ラ・バルカグループ 久遠チョコレート代表



■経歴

1977年 愛知県豊橋市生まれ
2003年 花園パン工房ラ・バルカ 設立
2012年 一般社団法人ラ・バルカグループ 設立
2014年 久遠チョコレート 設立

<助言者>

加藤 宏昭氏

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官

<次第>

1. 分科会進行説明（司会より）
2. 講師紹介
3. 動画上映
4. 座談会
5. 閉会

2 日目 附属セミナー

□イヤルホール（3階） 9:00～10:10

[司会] 顧問 二村美里

- ・ 省庁行政説明

「こども家庭庁におけるいじめ防止対策の取組について」

菊地 史晃氏

こども家庭庁 支援局 総務課 企画官

「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に係る取組について」

西 久美子氏

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報活用支援室 室長

「“農業農村整備”と日本の歴史・文化～学習マンガの活用による理解促進～」

空 周一氏

農林水産省 農村振興局 整備部 設計課 事業調整管理官

- ・ P T A活動事例発表

「捨てちゃうものがステキに変身！～未来のためにアップサイクル～」

山本 智子氏

奈良教育大学附属幼保連携型認定こども園 前P T A会長

- ・ 学校活動事例発表

「知的障害特別支援学校のセンター的機能の実践

～関係機関との多様な連携を通して～」

佐藤 義竹氏

筑波大学附属大塚特別支援学校 教務主任

「グローバル教育・ICT 教育と働き方改革で推進する未来志向の学校運営

～生徒主体の学びを育む教育改革の実践～」

安藤 和弥氏

千葉大学教育学部附属中学校 副校長

- ・ カンガルー保険紹介

- ・ 全附P連紹介

基調講演 2

ロイヤルホール (3階) 10:30 ~ 12:30

[司会] 顧問 二村美里

演題

「学び方が変わると人生が変わる」

10歳から15歳の子どもたちがわずか1年間でたくましく成長し、それぞれの道を切り開いていく力を習得していく「志の教育」「学び方の変革」といった教育実践について、木村貴志先生にご講演いただきます。

木村 貴志氏

Vision&Education,Ltd. 代表取締役



■経歴

1962年、福岡県生まれ。企業勤務、県立高等学校教師などを経て、2006年に「志の教育を創る」をテーマに、Vision & Education,Ltd. を設立。代表取締役を務める。「志の教育」「学び方の変革」をテーマとして全国各地で教育実践活動を展開中。2005年よりバッカーズ・ファンデーション（初代会長 セコム創業者 故飯田亮氏、2代会長廣瀬篁治氏）が主催する「バッカーズ寺子屋」の教育プログラムを作り塾長を務める。2008年からはバッカーズ九州寺子屋（支援者の会会長 株式会社麻生 代表取締役会長 麻生泰氏）の塾長を務める。2022年からは、福岡県小郡市の市政50周年を記念して設立された、小郡寺子屋「志学舎」の塾長を務める。現在、3つの寺子屋の塾長として、次代を担う10歳から15歳の子供たちの育成に力を注いでいる。目的意識や志を持つことの重要性を深く理解することが、その人の仕事への取り組み方を変え、ひいては人生そのものを充実したものに変わっていくことを伝える「志の教育」を実践。様々な業種の企業（自動車、建設、食品、運輸、金融、その他）における研修も行う。また、「志の教育」の前提として、「学び方」を変革していくことが大切であるという観点から、「学び方の変革」をテーマとした研修・講演にも力を注いでいる。古今東西の歴史上の人物の生き方、日本の文化・歴史を踏まえた幅広い視点を持ちつつ、現代に活躍する経営者たちの姿に学び作り上げられた「志の教育」は、偏った固定的な考え方を離れ、実効性を持つユニークなものであり、多くの支持が集まる。幼児教育、学校教育の分野においても、教育理念に関する研修（職員向け）、親心の学び舎（保護者向けセミナー）を実施するなど、日本の教育をより良いものにするための教育実践に力を注ぐ。著書に、『学び方が変わると人生が変わる』（梓書院）、『「志」の教科書』（産経新聞出版）などがある。

閉会行事

大会宣言

宮本 昌尚

一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会
副会長・全国大会実行委員長

閉会のことば

真壁 雄一

一般社団法人全国国立大学附属学校 PTA 連合会
研修委員長・全国大会副実行委員長

特別支援学校の生徒が心を込めて作りました

お配りした記念品は、全国の附属特別支援学校の生徒が製作した作業製品です。
ご家庭や学校でご活用いただき、特別支援学校に通う子どもたちへ関心をお寄せください。

群馬大学共同教育学部附属 特別支援学校

- ハーバリウム



東京学芸大学附属特別支援学校

- クラフトテープコースター
- マグネット
- 名札ケース



滋賀大学教育学部附属特別支援学校

- クラフトバンドで編んだストラップ
- クラフトバンドで編んだ花のストラップ
- さをり織のランチョンマット
- さをり織のコースター
- さをり織のカバン
- さをり織のシューズバッグ
- さをり織のクッションカバー
- さをり織の動物のおもちゃ（リング）
- さをり織の動物のおもちゃ（ボール）



金沢大学附属特別支援学校

- メッセージカード



福井大学教育学部附属特別支援学校

- 封筒



山口大学教育学部附属特別支援学校

- ダブルガーゼハンカチ
- さをり織コースターセット



香川大学教育学部附属特別支援学校

- ダブルガーゼハンカチ
- 箸置き



富山大学教育学部附属特別支援学校

- マグネット付きクリップ
- デコパーズクリップ
- クッション
- きんちゃく袋
- シュシュ



愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- メモ帳・缶バッチ詰め合わせセット



熊本大学教育学部附属特別支援学校

- ちぎれるふせん



販売ブースのご案内

大会期間中、特別支援学校の生徒が校内でつくったお菓子のほか、卒業生が活躍する福祉事業所の製品などを販売します。ぜひ、全国大会のおみやげとしてご利用ください。

hocco sweets

菓子製品

「hocco sweets」は高知大学教育学部附属特別支援学校の校内に、オープンするお菓子屋さんで、心のこもったハイクオリティなお菓子は、地域の方々に愛されています。



SOWHAT

アメリカンクッキー

愛知県の就労継続支援 B 型事業所として、お弁当や軽食、地元の野菜などを販売し、障がい者が自立して生活できるよう、その就労支援を行っている SOWHAT 産のアメリカンクッキーです。



工房わかぎり

レザークラフト製品

「工房わかぎり」は筑波大学附属大塚特別支援学校の親の会を母体にした作業所です。革の裁断、染色、縫製まで丹念にひとつひとつ手作りです。長く使っていくほどに味わいのある、オリジナリティ溢れる革製品です！



筑波大学附属大塚特別支援学校

クッキー詰め合わせ、小麦粉袋トート、

厚手・薄手フェイスタオル、ハンカチタオル

生徒が一生懸命、心を込めて丁寧に製作した品々です。クッキーの詰め合わせは、「生徒たちが作る本物のお菓子」として、自分ひとりや友達と協力して作ったクッキーです。



- 殺菌・抗菌効果があります
ヒノキチオールなどの抗菌成分が多く含まれカビや細菌を寄せ付けません。
- リラックスタイムに
風呂での楽しい香りでアロマ効果。お部屋やお風呂で焚きつけて下さい。
- ノベルティグッズとして
石川県の清水である 能登ヒバ(あての木)を使用し、贈り物に最適な商品ができました。企業での販路拡大や記念品にぜひ、お役立て下さい。
- 1箱：一袋5g/100個入り 11,000円(税込)

生きがいワークス白山

能登ヒバ香り袋「档香 (アテカ)」

金沢大学附属特別支援学校から、現場実習や、学習発表会で作業製品を販売するなど、学校と連携を行う事業所として紹介がありました。令和6年度能登半島地震の復興支援商品のひとつです。

学校園・参加者数

2024.9.18 現在 168 校園 533 名

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
1	北海道教育大学附属札幌小学校	3	3	4	10
2	北海道教育大学附属札幌中学校	4	2	1	7
3	北海道教育大学附属函館小学校	1	2	0	3
4	北海道教育大学附属特別支援学校	3	1	0	4
5	北海道教育大学附属旭川幼稚園	1	0	0	1
6	北海道教育大学附属旭川小学校	4	2	0	6
7	北海道教育大学附属旭川中学校	5	0	0	5
8	北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程	1	1	0	2
9	北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程	1	1	0	2
10	弘前大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
11	弘前大学教育学部附属小学校	1	1	0	2
12	弘前大学教育学部附属中学校	2	1	0	3
13	弘前大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
14	岩手大学教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
15	岩手大学教育学部附属小学校	4	1	0	5
16	岩手大学教育学部附属中学校	1	2	0	3
17	秋田大学教育文化学部附属幼稚園	1	0	0	1
18	秋田大学教育文化学部附属小学校	1	0	0	1
19	秋田大学教育文化学部附属中学校	3	0	0	3
20	宮城教育大学附属幼稚園	0	1	0	1
21	宮城教育大学附属小学校	5	1	0	6
22	宮城教育大学附属中学校	3	1	3	7
23	宮城教育大学附属特別支援学校	2	0	0	2
24	山形大学附属幼稚園	1	0	0	1
25	山形大学附属中学校	2	0	0	2
26	山形大学附属特別支援学校	1	0	0	1
27	福島大学附属幼稚園	2	0	0	2
28	福島大学附属小学校	2	0	0	2
29	福島大学附属中学校	2	0	0	2
30	茨城大学教育学部附属中学校	3	1	1	5
31	宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園	0	1	0	1
32	宇都宮大学共同教育学部附属小学校	2	0	1	3
33	群馬大学共同教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
34	群馬大学共同教育学部附属中学校	3	1	0	4
35	埼玉大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
36	埼玉大学教育学部附属小学校	4	0	1	5
37	埼玉大学教育学部附属中学校	3	2	0	5
38	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	1	2	0	3
39	千葉大学教育学部附属幼稚園	3	0	0	3
40	千葉大学教育学部附属小学校	1	0	0	1
41	千葉大学教育学部附属中学校	8	1	0	9
42	筑波大学附属高等学校	2	0	0	2
43	筑波大学附属坂戸高等学校	4	0	0	4
44	お茶の水女子大学附属幼稚園	9	0	0	9

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
45	お茶の水女子大学附属小学校	5	0	0	5
46	お茶の水女子大学附属中学校	4	1	0	5
47	お茶の水女子大学附属高等学校	2	0	0	2
48	東京学芸大学附属世田谷小学校	1	0	1	2
49	東京学芸大学附属小金井中学校	6	0	0	6
50	東京学芸大学附属竹早中学校	1	0	0	1
51	東京学芸大学附属国際中等教育学校（後期）	4	0	0	4
52	東京学芸大学附属特別支援学校	3	0	0	3
53	東京大学教育学部附属中等教育学校（後期）	2	0	0	2
54	横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校	4	0	0	4
55	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	3	0	0	3
56	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
57	山梨大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
58	山梨大学教育学部附属中学校	2	0	0	2
59	新潟大学附属新潟小学校	5	0	0	5
60	新潟大学附属新潟中学校	5	0	0	5
61	新潟大学附属長岡小学校	1	0	0	1
62	上越教育大学附属小学校	2	0	0	2
63	富山大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
64	富山大学教育学部附属中学校	4	0	0	4
65	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園	3	1	1	5
66	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校	2	1	0	3
67	福井大学教育学部附属中学校義務教育学校（後期）	1	0	1	2
68	信州大学教育学部附属長野小学校	1	0	0	1
69	信州大学教育学部附属長野中学校	1	0	0	1
70	信州大学教育学部附属松本小学校	1	0	0	1
71	岐阜大学教育学部附属小中学校（後期）	6	1	0	7
72	静岡大学教育学部附属静岡小学校	1	0	0	1
73	静岡大学教育学部附属静岡中学校	2	1	0	3
74	静岡大学教育学部附属浜松小学校	4	1	0	5
75	静岡大学教育学部附属浜松中学校	3	1	0	4
76	静岡大学教育学部附属島田中学校	1	0	1	2
77	愛知教育大学附属名古屋小学校	3	0	0	3
78	愛知教育大学附属名古屋中学校	8	0	0	8
79	愛知教育大学附属岡崎小学校	4	0	0	4
80	愛知教育大学附属岡崎中学校	8	0	0	8
81	名古屋大学教育学部附属高等学校	2	1	0	3
82	三重大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
83	三重大学教育学部附属小学校	6	0	0	6
84	三重大学教育学部附属中学校	3	0	0	3
85	三重大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
86	滋賀大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
87	滋賀大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
88	滋賀大学教育学部附属中学校	1	0	0	1
89	京都教育大学附属幼稚園	1	1	0	2
90	京都教育大学附属京都小中学校（初等部）	1	1	0	2

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
91	京都教育大学附属桃山小学校	1	0	0	1
92	京都教育大学附属桃山中学校	5	0	0	5
93	京都教育大学附属高等学校	3	1	0	4
94	京都教育大学附属特別支援学校	1	0	0	1
95	大阪教育大学附属幼稚園	1	0	0	1
96	大阪教育大学附属天王寺小学校	1	0	0	1
97	大阪教育大学附属池田小学校	0	1	0	1
98	神戸大学附属幼稚園	1	1	0	2
99	神戸大学附属中等教育学校（後期）	1	0	0	1
100	神戸大学附属特別支援学校	0	1	0	1
101	兵庫教育大学附属小学校	2	0	0	2
102	兵庫教育大学附属中学校	2	0	0	2
103	奈良女子大学附属幼稚園	1	0	0	1
104	奈良女子大学附属小学校	4	0	0	4
105	奈良女子大学附属中等教育学校（後期）	1	1	1	3
106	奈良教育大学附属中学校	1	0	0	1
107	和歌山大学教育学部附属小学校	1	1	0	2
108	鳥取大学附属小学校	3	1	0	4
109	鳥取大学附属中学校	1	0	0	1
110	島根大学教育学部附属幼稚園	2	1	0	3
111	島根大学教育学部附属義務教育学校（前期）	3	1	0	4
112	島根大学教育学部附属義務教育学校（後期）	2	2	0	4
113	岡山大学教育学部附属幼稚園	2	1	0	3
114	岡山大学教育学部附属小学校	3	2	0	5
115	岡山大学教育学部附属中学校	4	1	0	5
116	広島大学附属小学校	2	1	1	4
117	広島大学附属高等学校	1	0	1	2
118	広島大学附属東雲小学校	2	2	0	4
119	広島大学附属東雲中学校	3	1	0	4
120	広島大学附属幼稚園三原園舎	2	1	0	3
121	広島大学附属三原小学校	3	0	0	3
122	広島大学附属三原中学校	2	2	0	4
123	広島大学附属福山中学校	0	2	0	2
124	広島大学附属福山高等学校	1	1	0	2
125	山口大学教育学部附属幼稚園	0	1	0	1
126	山口大学教育学部附属山口小学校	2	2	2	6
127	山口大学教育学部附属山口中学校	5	2	0	7
128	山口大学教育学部附属光中学校	2	0	0	2
129	山口大学教育学部附属特別支援学校	0	1	0	1
130	鳴門教育大学附属幼稚園	1	0	0	1
131	鳴門教育大学附属小学校	1	1	0	2
132	鳴門教育大学附属中学校	5	1	0	6
133	鳴門教育大学附属特別支援学校	1	1	0	2
134	香川大学教育学部附属高松小学校	4	1	0	5
135	香川大学教育学部附属高松中学校	5	2	0	7
136	香川大学教育学部附属坂出小学校	3	0	0	3

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
137	香川大学教育学部附属坂出中学校	3	1	0	4
138	香川大学教育学部附属特別支援学校	0	2	0	2
139	愛媛大学教育学部附属小学校	1	1	1	3
140	愛媛大学教育学部附属中学校	1	0	0	1
141	愛媛大学附属高等学校	1	0	0	1
142	愛媛大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
143	高知大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
144	高知大学教育学部附属小学校	3	1	0	4
145	高知大学教育学部附属中学校	2	1	0	3
146	高知大学教育学部附属特別支援学校	2	1	0	3
147	福岡教育大学附属福岡小学校	1	2	0	3
148	福岡教育大学附属福岡中学校	3	1	0	4
149	福岡教育大学附属小倉小学校	1	1	1	3
150	福岡教育大学附属小倉中学校	3	1	1	5
151	福岡教育大学附属久留米小学校	3	0	0	3
152	佐賀大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
153	佐賀大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
154	佐賀大学教育学部附属中学校	3	0	0	3
155	長崎大学教育学部附属小学校	1	0	0	1
156	長崎大学教育学部附属中学校	2	0	1	3
157	熊本大学教育学部附属幼稚園	3	1	1	5
158	熊本大学教育学部附属小学校	3	1	0	4
159	熊本大学教育学部附属中学校	7	1	0	8
160	大分大学教育学部附属幼稚園	2	1	0	3
161	大分大学教育学部附属小学校	6	0	2	8
162	宮崎大学教育学部附属小学校	5	0	0	5
163	宮崎大学教育学部附属中学校	3	0	0	3
164	鹿児島大学教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
165	鹿児島大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
166	鹿児島大学教育学部附属中学校	3	0	0	3
167	琉球大学教育学部附属小学校	8	1	2	11
168	琉球大学教育学部附属中学校	4	0	1	5
		409	94	30	533

お礼の言葉

宮本 昌尚

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会
副会長・全国大会実行委員長



一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）PTA研修会第15回全国大会が多くの方のご協力のおかげで開催することができましたこと、またコロナ感染症が5類移行1年経過したとはいえ多くの方のご参集たまわりましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

今大会は「子どもたちとこの国の未来のために～語り合おう、いまわたしたちのできることを～」をスローガンに掲げ、今教育現場で実践されていることを保護者、教育者としてどう受け止め、PTAとして何が必要なのかを学びあえる企画を考えました。基本的な「語り合う」ことから「しっ

かり聞く」、そこから各々が考えを深めていくことを学ぶプログラムや自らの意思で未来を切り拓くことを学ぶものを軸に、今後の活動の中で必ず必要になってくるであろう分科会を取り揃えました。この2日間で良い経験ができ、何か1つでも持ち帰ってもらうことができれば幸いです。

また当日参加が叶わなかった方や、もう一度聞いておきたい方のために期間限定で一部オンデマンド配信をいたします。是非とも多くの方で深い学びを共有していただきたいと思います。最後になりましたが、ご参加いただきました皆様、多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

終わりの言葉

真壁 雄一

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会
研修委員長・全国大会副実行委員長



この度は、一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）PTA研修会第15回全国大会に全国各地より多くの皆様に参加いただいたことに、心より感謝申し上げます。

今大会は「子どもたちとこの国の未来のために～語り合おう、いまわたしたちのできることを～」を開催スローガンとし、対話・交流・学びがあるPTA研修会になるように、全国大会実行委員会一同で努めてきました。会場も変わり、情報交換

会も再開し、昨年度までとは一味違う研修会を楽しんでいただけたと思います。

また、プログラムの一部はオンデマンド配信を予定しております。たくさんのお仲間に周知していただき、ご視聴くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。最後になりますが、ご参加いただいた皆様、並びに大会の企画運営にご協力いただきました多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

大会実行委員

会長	三重大学教育学部附属小学校	桑名 良尚
直前会長	茨城大学教育学部附属中学校	大竹 昌士
実行委員長 (副会長)	香川大学教育学部附属坂出中学校	宮本 昌尚
副実行委員長 (研修委員長)	埼玉大学教育学部附属中学校	真壁 雄一
副会長	奈良女子大学附属中等教育学校	森川 誠
	福島大学附属特別支援学校	齋藤 伸
専務理事	島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程	田城 敏史
理事	滋賀大学教育学部附属小学校	西村 寧
	静岡大学教育学部附属浜松小学校	村上 哲平
	千葉大学教育学部附属小学校	間宮 達紀
	弘前大学教育学部附属中学校	後藤 友樹
	鳥取大学附属中学校	山中 達郎
	三重大学教育学部附属中学校	世古 丈人
	北海道教育大学附属函館小学校	長谷川康介
	福岡教育大学附属福岡中学校	堀 毅文
	鳴門教育大学附属小学校	小川 浩司
	東京学芸大学附属小金井小学校	中島 菊子
	神戸大学附属小学校	羌 叡應
	上越教育大学附属中学校	小池 秀樹
	愛媛大学教育学部附属中学校	安岡 憲幸
	監事	元岩手大学教育学部附属中学校
元千葉大学教育学部附属中学校		高地たか子
顧問	元香川大学教育学部附属坂出中学校	神余 智夫
	奈良女子大学附属中等教育学校	萩原 清明
	元静岡大学教育学部附属浜松中学校	二村 美里
評議員	元茨城大学教育学部附属中学校	幡谷 公朗
	広島大学附属東雲小学校	小藤 智也
	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	井上 周
専門委員	大阪教育大学附属平野小学校	藤井 由香
	元神戸大学附属特別支援学校	増田 梓
準備員	元東京学芸大学附属高等学校	石塚由紀子
	お茶の水女子大学附属高等学校	越川 有希
	東京学芸大学附属国際中等教育学校	前田 るり
	元筑波大学附属高等学校	東 悦子
	元筑波大学附属高等学校	岡島絵美子
協力員	埼玉大学教育学部附属小学校	大崎 郁乃
	埼玉大学教育学部附属小学校	古谷 彩
	埼玉大学教育学部附属小学校	下宮 慎平
	埼玉大学教育学部附属小学校	鈴木 栄利
	埼玉大学教育学部附属中学校	新井 寛子
	埼玉大学教育学部附属中学校	吉野 之乃
	東京学芸大学附属特別支援学校	佐藤 郁恵
	東京学芸大学附属特別支援学校	山本めぐみ

協力員	東京学芸大学附属小金井小学校	双川 朋恵
	東京学芸大学附属小金井小学校	梶山 明子
	東京学芸大学附属小金井小学校	藤 優子
	東京学芸大学附属小金井小学校	佐藤 祥子
	東京学芸大学附属小金井小学校	薬師寺美登利
	茨城大学教育学部附属中学校	卓 久美子
	千葉大学教育学部附属中学校	阿部早希子
	千葉大学教育学部附属中学校	林 育子
事務局	東京学芸大学附属特別支援学校	木崎マユミ
	事務局長	彦坂 秀樹
	事務主事	美野 未来
	事務補佐員	野田 知恵

<協力>		
編集・デザイン	株式会社文成社	内藤寿美子
登録・システム	株式会社オールア라운드	長谷川浩二
撮影・配信	株式会社アクエルド	内藤 明

各アンケート



集合型参加者



後日配信版
オンライン参加者

ご案内

- 大きなお荷物は、ホテルの2階もしくは3階のクロークにお預けいただけます。
- 主催者では、盗難・紛失等の責任を負いかねますので、貴重品とお手回りの管理には十分ご注意ください。
- 携帯電話は、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定のうえ、通話をご遠慮ください。
- 各講演の聴講に際し、許可のない撮影・録音は固くお断りいたします。
- 会場内は禁煙となっております。1階の喫煙コーナーをご利用いただけます。
- 会場内での飲食は禁止となっております。ただし、ペットボトルや水筒での飲み物は可能とします。
- 販売品のお菓子類はお土産のため、会場内でのお召し上がりはご遠慮願います。
- アンケートのご協力をお願いいたします。ご回答いただきました内容につきましては、今後の活動に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会 PTA研修会 第15回全国大会

大会要項

令和6年9月27日～9月28日

発行者 一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会

発行所 全附連事務局

〒113-0033

文京区本郷4丁目16-6 905・907

TEL.03-5990-9444 FAX.03-5990-9445

E-mail jimukyoku@zenfuren.org

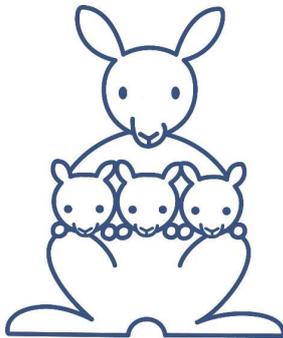
HP <https://www.zenfuren.org/>

2024年度

カンガルー保険（全員加入制度）

※個人での加入はできません。

保険期間：2024年6月1日午後4時から2025年6月1日午後4時まで



園児・児童・生徒、教職員の皆さまのケガなどを補償する

<1>園児・児童・生徒・教職員 総合補償制度

（学校契約団体傷害保険、賠償責任保険PTA特約）

園児・児童・生徒、教職員の皆さまを犯罪事故からお守りする

<2>犯罪被害事故 見舞補償制度

（傷害総合保険）

PTA活動に参加中のご両親・教職員の皆さまのケガや賠償事故を補償する

<3>PTA活動総合補償制度

（普通傷害保険PTA団体傷害特約、賠償責任保険PTA管理者特約、生産物特約）

※「カンガルー保険（全員加入制度）」は全国国立大学附属学校PTA連合会を保険契約者、損害保険ジャパン株式会社を引受保険会社とし、学校契約団体傷害保険、傷害総合保険、PTA団体傷害保険、賠償責任保険（PTA特約、PTA管理者特約、生産物特約）をそれぞれ組み合わせて加入する補償制度のブランドネームです。

カンガルー保険（全員加入制度）は、以下の取扱代理店にお問い合わせください。

※この広告は概要を説明したものととなります。詳細はパンフレットをご覧ください。取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

<お問い合わせ先（資料請求はこちらへ）>

【取扱代理店】（北海道・東北・関東・北信越・四国地区）株式会社 第一成和事務所 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-3Daiwa日本橋馬喰町ビル3階

TEL：0120-100-492・03-3669-2831 FAX：03-3667-9037

受付時間：平日の9：00～17：30（土日、祝日、12/29～1/4を除きます。）

（東海・近畿・中国・九州地区）

海上商事株式会社 東京都渋谷区代々木2-11-15 新宿東京海上日動ビルディング

TEL：0120-745-748 FAX：03-3320-4877

受付時間：平日の9：30～17：30（土日、祝日を除きます。）

【引受保険会社】損害保険ジャパン株式会社 公務文教営業部文教室

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL：03-3349-4679 FAX：03-3348-0238

SJ24-01307 2024/5/1

全国国立大学附属学校園の幼児・児童・生徒の保護者の皆様へ

24時間補償

☆2024年度☆
☆中途加入受付中☆

カンガルー保険のご案内

（団体総合生活保険）

（任意加入制度）



この保険は全国国立大学附属学校PTA連合会の団体保険です。

約50%割引

全国国立大学附属学校PTA連合会
が窓口の団体契約なので、
保険料が約50%割安です。
・団体割引：30% ・損害率による割引：25%
・大口団体契約割引：10% 適用

24時間補償

お子様を取り巻く様々なリスクに
対応した安心のための
24時間補償制度です。

簡単・便利！

・保険料のお支払は、
便利な「口座振替方式」
・更新のお手続きは、
便利な「自動更新」です。

保険期間

2024年4月1日午後4時から2025年4月1日午後4時まで1年間

※随時ご加入いただけます。（お申込日にかかわらず、補償は2025年4月1日午後4時に終了します。）

※ご加入ご希望の方は、取扱代理店までお問い合わせください。

加入対象者

①全国国立大学附属学校園に在籍の幼児・児童・生徒
②本制度にご加入いただいた上記①の兄弟で、公・私立の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校に通われている幼児・児童・生徒（ご加入時に満3歳以上から満18歳以下の方に限ります。）

加入手続き

パンフレット差込の加入依頼書にご記入・ご捺印（銀行届出印）のうえ、返信用封筒にてご返送ください。

申込締切日

随時ご加入いただけます。（お手続きの翌月1日（午後4時）からの補償開始となります。）

※パンフレットのご請求、保険料につきましては、取扱代理店までお問い合わせください。

詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。

お問合せ先【取扱代理店】

・《北海道・東北・関東・北信越・四国地区》株式会社 第一成和事務所 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-3Daiwa日本橋馬喰町ビル3F TEL0120-100-492

・《東海・近畿・中国・九州地区》 海上商事株式会社 東京都渋谷区代々木2-11-15 新宿東京海上日動ビルディング TEL0120-745-748

このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

【引受保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社

（担当課）公務第二部 文教公務室 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL:03-3515-4133

24TC-000529 2024年4月作成

地域別
カラー

北海道

東北

関東

北信越

東海

近畿

中国

四国

九州

STAFF

校種別
カラー



特支



幼



小



中・高



来賓・後援会

1日目 2024年9月27日(金)

時間	13:00	14:00	15:30	16:00	17:30	18:00
場所	13:00~14:00	14:00~15:30	15:30	16:00	16:00~17:30	18:00~20:00
ロイヤルホール	受付 開会行事 来賓挨拶・行政説明	基調講演				情報交換会
ダイヤモンド				分科会 1		
エメラルド			休憩	分科会 4	休憩	
サファイア				分科会 2		
ガーデンテラス				分科会 3		
ガーネット	来賓控室					
アメジスト	来賓控室					
ロアイリス	講師控室					
アゼリア	講師控室					
クリスタル II	講師控室					
クリスタル I	大会本部					

2日目 2024年9月28日(土)

時間	8:00	8:30	9:00	10:10	10:30	12:30	12:40
場所			9:00~10:10	10:10	10:30~12:30		
ロイヤルホール		受付	附属セミナー	休憩	基調講演	閉会行事	
クリスタル II	中国地区会長会						
ガーネット	講師控室						
アメジスト	来賓控室						
クリスタル I	大会本部						

